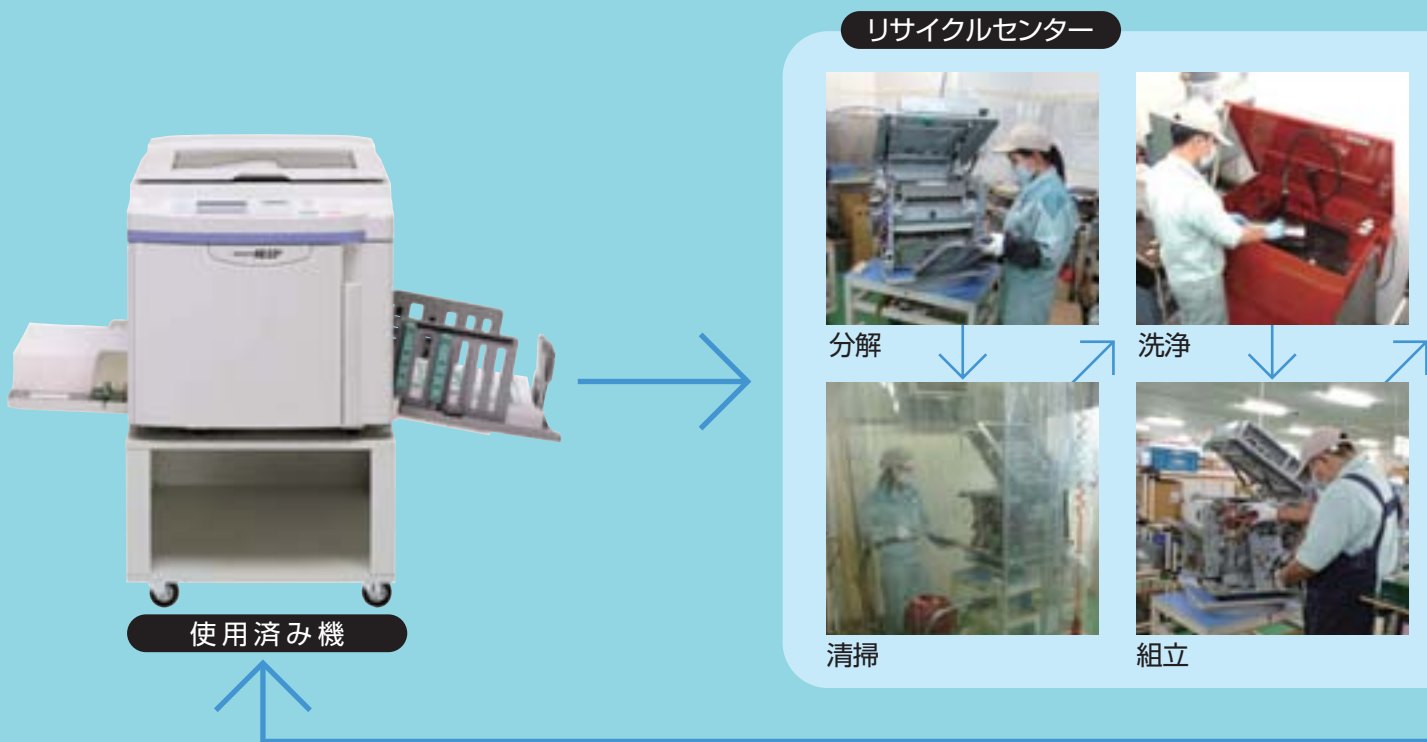


製品における環境配慮②「リソグラフ」シリーズ

「使用済み製品は廃棄物ではなく、貴重な資源である」 この考えのもと、リサイクルシステムを運用しています。

理想科学は、使用済み印刷機や使用済みインクボトルの回収・リサイクルシステムを運用し、循環型社会の構築に積極的に取り組んでいます。たとえば、リソグラフ「RE33P」では、使用済み製品の99%についてリユース・リサイクルを実現しています。

デジタル印刷機のリサイクルフロー



廃棄物ゼロの実現をめざして

リサイクルセンターは、1998年、使用済みデジタル印刷機のリサイクル生産（分解、リユースパーツの利用と消耗部品の交換、組立調整）を担う専門部署として発足しました。

1998年の開始から2009年3月末までのリサイクル機の生産で、新品機を生産し続けた場合に比べるとおよそ7,000tのCO₂排出量を削減したことになります*。2008年度はこれまでの単色機のリサイクル生産に加え、2色機のリサイクル生産も開始。また、印刷機本体のリサイクルに加え、メンテナンス用のリユースパーツの供給も開始しました。

今後も、メーカーの責務として、そして子供たちに豊かな地球環境を残すために、廃棄ゼロをめざしてリサイクル活動を続けていきたいと思えます。

*エコリーフ開示データをもとにした自社試算による。

RISOからのメッセージ

理想科学工業株式会社
リサイクルセンター長
杉田 久信



総合的な配送サービスで環境貢献

1984(昭和59)年、製版機能と印刷機能の一体化した印刷機が登場しました。機械本体の重量が増して納品作業の負荷が増えたため、パワーゲート搭載車両での納品をご提案したことがご縁で今日までお取引をさせていただいております。

当初、製品配送のみをお引き受けしていましたが、製品配送の効率化に向けて、当社で製品の調整、周辺機器のセット化を実施し、そのままお客様へ納品するという業務フローを実現しています。これによって、納品リードタイムの短縮によるお客様サービスの向上はもとより、無駄な移動が減ったことで、環境にも貢献できていると思います。

使用済み製品の回収については、お客様への納品時の帰り便で引き取りを行っています。回収機の保管および機器情報管理、素材回収処理への仕向け、リサイクル向け機の選別など、より総合的に協力させていただいております。

今後も、理想科学さんのリサイクルシステムに貢献していくために、より密なパートナーシップを築くとともに、当社自身もサービスの効率化、環境への貢献を追求してまいります。

取引先の声

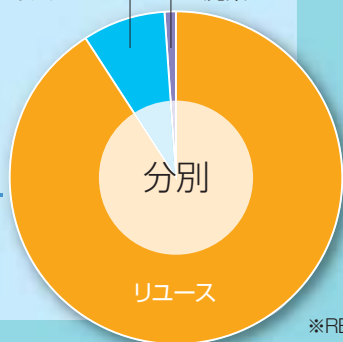
株式会社ヒサゴサービス
代表取締役

砂崎 亨明 様



検査

リサイクル 廃棄



※RE33Pの場合



リサイクル機



91%
リユース



8%
リサイクル



1%
廃棄